



Kazuya Kitaura

撮影者：横山大介 Daisuke Yokoyama

北浦 和也

大阪芸術大学短期大学部
2004年
デザイン美術学科
スペースデザインコース卒業
2005年
専攻科デザイン美術専攻
立体造形コース修了

略歴

2023年

- ・六甲ミーツアート「beyond」/
六甲高山植物園(神戸)
- ・個展「TOY!」/skiima gallery(大阪)

2022年

- ・「既知との遭遇 北浦和也×やんツー」/
京都精華大学Demachi(京都)
- ・個展「キボリことばわざ百景」/
夜長堂(大阪)
- ・個展「Piece of Peace/POP」/
galerie 6c(西宮)
- ・個展「PUFF」/VOU(京都)
- ・個展「PARTICLE」/MOTIF(香川)
- ・「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」/
曾爾村(奈良)
- 他



個展「PUFF」/VOU(京都)



Picnic on Circle Circus



TOKIDOKI DOKIDOKI

出会いの中で見つかる自分

短大時代、スペースデザインコースで製図や空間デザインを2年、専攻科として1年立体造形コースで彫刻を学びました。

専攻科のスタートは家具を制作していましたが、当時立体造形コースの先生で、堀野利久先生、中西學先生、川島慶樹先生、副手の栗津謙吾さんの授業や作品制作の手伝いをしているうちに、刺激を受け、自分の作る物が家具から作品を作りたい気持ちへと変化していきました。

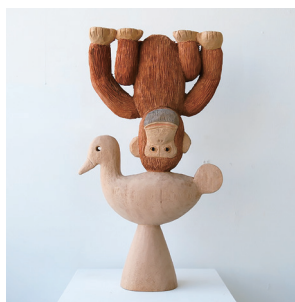
学生時代先生に言ってもらった「今のうちに出会えるだけ色々な人に会った方がいいで、若いうちにしか出会えない人多いから～」という言葉が印象的で今に繋がっています。

卒業した1年後、栗津さん・同級生の佐川好弘くんの3人で豊能町に200坪の土地を借りてアトリエを作り「宮ノ前㊤」として4年ほど拠点としました。

2010年からは先輩で陶芸作家の山本朱さん・佐川くんと共同で西中島にアトリエ「24ナカジマ」を作り現在も拠点としています。



toy toy toy



monkey&bird



dance

主に使う素材は木で、郷土玩具や童話・SFファンタジーなどに登場してくる動物や人などのモチーフ組み合わせ、木の塊から彫り出された彫刻は、荒々しい彫跡と共存するポップな色彩とファンシーでポップでシュールで見る人が思わず微笑まずにはいられない作品を制作しています。

初個展は2009年の番画廊で「デテくるもの」をタイトルに木彫作品の展覧会を開催しました。

その後、発表する場をギャラリーや飲食店、服屋さん等場所にとらわれず個展を開催したり、誘ってもらったイベントなどなるべく断らずに参加してきました。

それは学生時代に言ってもらった、「今のうちに出会える人に出会った方がいいで～」という言葉が実際に人と出会う中で実感したからです。

彫刻家と肩書きをつけ出したのは、福岡道雄さんとお昼ご飯を食べている時に「キミは彫刻家？絵描き？」と聞かれ「彫刻家です。」と言っている自分にシックリきたからです。

推薦者／大阪芸術大学短期大学部 デザイン美術学科 教授 堀野 利久